

施工マニュアル 【AGV用被覆マグネットシート】

施工上の特性

- 下地の不陸(凹凸)、ひび割れなどの不具合があるとその部分が製品表面に影響を及ぼすことがあります。必ず下地は平滑に仕上げてください。
- 下地で粉ふきが見られる場合はプライマー・シーラー処理を行ってください。プライマー・シーラー処理が不十分な場合、施工用テープの接着強度が発現せず製品が浮く可能性があります。
- 直線部分の施工で仕上がりが外観を重視する場合につきましては、直線タイプのご使用をお勧めします。

製品切断時のご注意

- カッターナイフでの切断は、けがをする恐れがありますので避けてください。
刃渡りの長いコーティングされたハサミによる切断をお勧めします。

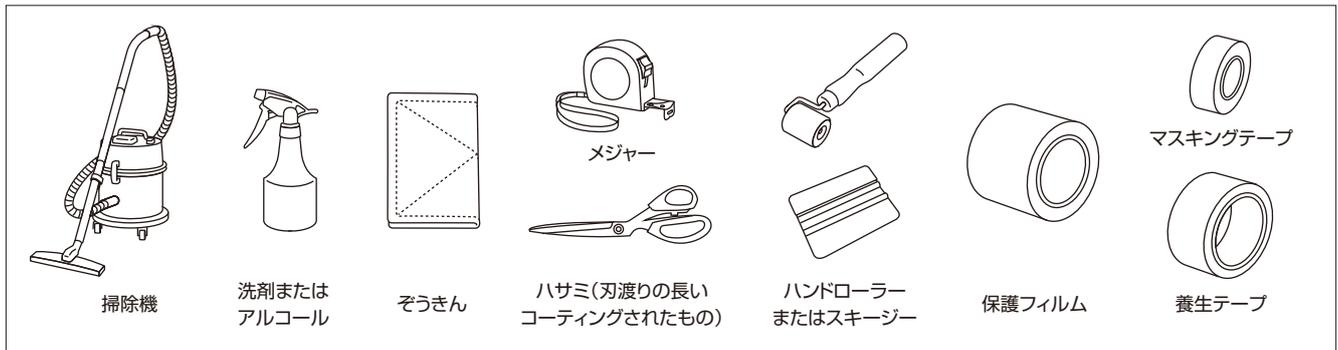
製品に関するご注意

- 周囲温度が適正温度範囲(-10℃~60℃)外の場所では、使用・保管しないでください。
- 多湿となる環境下での使用・保管も避けてください。
- 屋内使用製品です。屋外や軒下では使用しないでください。
- 水廻りでのご使用も避けてください。
- 製品保管時は梱包箱に入れ、必ず平置きにして保管してください。たて掛けなどは行わないでください。
- 凹凸面、水や油の滞留する場所は貼り付けが困難です。ご注意ください。
- リフト等の重量物の旋回する場所は敷設のずれや剥離、劣化が起こる可能性がありますのでご注意ください。
- 有機溶剤、薬品および腐食性ガス等が直接かかる雰囲気でのご使用は避けてください。
- 磁気の影響の恐れのあるものは近づけないでください。
- ネオジウム磁石等の強磁界を近づけると着磁や脱磁の影響により磁力線が変化しますのでご注意ください。

施工前の準備

用意する道具

はじめに、掃除道具や貼り付け用の道具をご準備ください。



下地調整

- 下地の不陸調整や釘頭の処理をしてください。
- 下地は必ず平滑に仕上げてください。また、堅牢で乾燥していること、突起がないことを確認してください。

表面清掃

- 最初に、ほこりや砂等の汚れを掃除機等で除塵してください。
- 次に、洗剤やアルコール等で汚れを十分に除去してください。
清掃が不十分だと、粘着力が落ちたり、凹凸ができて剥がれの原因となります。
- 下地の状況に応じてプライマー・シーラー処理を行ってください。
- 清掃後は汚れた靴で立ち入らないようご注意ください。

施工マニュアル 【AGV用被覆マグネットシート】

施工手順

① 割付け

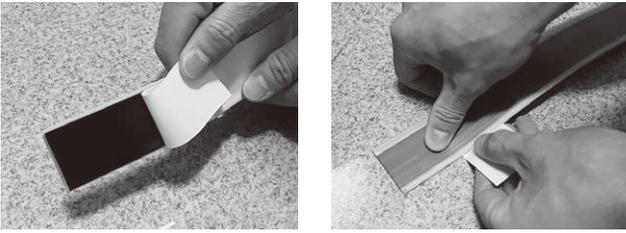
貼り付け位置を測り、マスキングテープ等で目印をつけてください。

② 仮置き

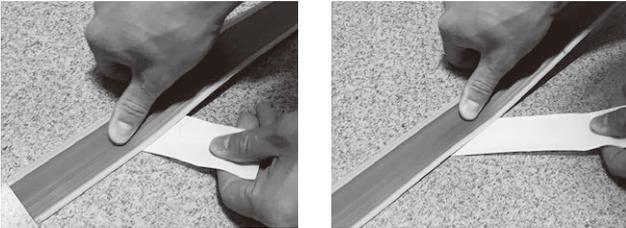
AGV用被覆マグネットシートを仮置きし、必要に応じて養生テープで仮止めしてください。

③ 貼り付け

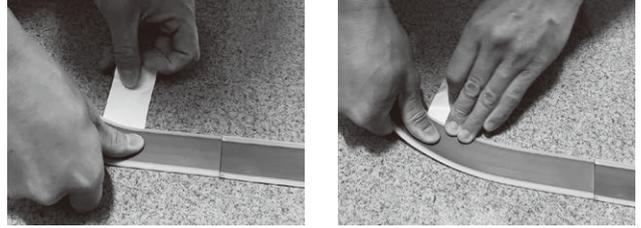
①AGV用被覆マグネットシートの剥離紙を5cm程折り込み、端部をしっかりと貼り付けてください。



②たわみが生じないようにピンと張った状態で、剥離紙を剥がしつつ、押しながら貼り付けてください。



③曲線部はRタイプをご使用ください。直線部分を10cm程確保してから、徐々にけがき線などの目印に沿わせて貼り付けてください。最小Rは350までとします。



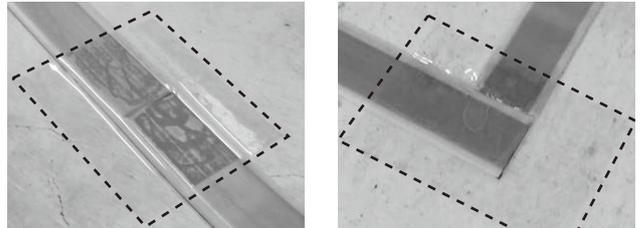
④ハンドローラーやスキージーで長手にしごくように圧着してください。



⑤施工用テープが完全硬化するまで、半日程度養生してください。必要に応じて仮止め用養生テープをご使用ください。

④ 仕上げ

剥がれ、浮きがある場合は再度圧着してください。
つなぎ目は保護フィルムでの保護を推奨します。



つなぎ合わせ部

縁切りコーナー部